

安全にお使いいただくために



本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解してください。

この取扱説明書は、本製品の基本操作を説明するもの で、故障を修理する方法を記載したものではありませ ん。本製品は診断テストや車両故障のおおよその箇所 の発見に使用するためのもので、車両の診断を行う際 に使用者は、サービス(保守整備)マニュアルと最新 の保守整備用公示資料も参照していただくようお奨め いたします。

修理に関しては、製造元車両サービスマニュアルまた は他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。



本製品を十分に活用していただくためには、車両コン ピュータコントロールシステムを熟知されている必要 があります。

本製品を使用する際に修理書を参照せず、無理な使い 方で車両を破損させた場合、本製品の正しい使用方法 以外で発生した損害については、一切の責任を負いか ねます。

人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブ レーキを確実にかけ、車輪止めを行い車両の点検・ 修理を行ってください。

車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動 させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行っ てください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至 る恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭素が含 まれておりますので、排気ガスは絶対に吸い込まない ようにしてください。

診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニ ッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認 してください。イグニッションスイッチが ON の位置 で接続すると、TPM-6本体やプログラムを破壊する場 合があります。

車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。 運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。 電源電圧は DC10V 以上 32V 以下でお使いください。



濡れた手で、本製品にふれないでください。 本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃等を与 えないでください。

本体およびケーブル、アダプター等の金属端子部に直 接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静 電気による破壊等が発生する場合があります。 車種によってサービスデータが有効ではない場合は車 両システムの変更による可能性があります。 本製品を分解・改造しないでください。 本体のコネクタ部に異物を入れないでください。 本製品を直射日光があたる場所や高温になる場所また は、炎天下の車室内に放置しないでください。 本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。



本製品を使用し、何度診断を試みても診断ができない 場合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考え られますのでご確認ください。また、サポートされて いない車両の可能性もあります。

車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示の 内容が正しくない場合があります。

目次

E]次	3
1.	. 梱包品の確認	4
2.	. 各部名称	4
3.	初期設定とIDの確認 6 接続と起動. 6 機能説明 6 設定画面の起動. 7 言語の設定. 7 コントラストの設定. 7 キーパッドのバックライト. 7 メーカーの自動選択. 7 時計の設定. 7 本体 ID. 8	6
4.	. ユーザー登録	9
5. 6.	 アップデート 車両登録 新規登録 登録済車両選択 13< 登録済車両削除 14 	11
7.	診断. 故障コードの読取. 16 故障コードの消去. 18 故障コードの消去. 18 ブータモニタ. 19 データ保存. 20 結果を印刷する. 21 DTC ヘルプ機能. 22 カスタマイズ. 23 作業サポート. 24 アクティブテスト. 25	16
8.	. 特殊機能	26
9.	. 履歴 保存データの表示(再生)	28
1(0. J2534 モード	30
11	1. WI-FI によるアップデート	34
12	2. 保存データをパソコンで確認する	36
18	3. トラブルシューティング	37
14	4. 保証について	41

1. 梱包品の確認

ご使用前にすべての製品が揃っていることを確認してください。 万一、不足の品がありましたらお手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。



2. 各部名称



本体仕様

本体寸法:	148 (W) x 242 (H) x 49 (D) mm
本体重量:	526 g
電源電圧:	8-32VDC
使用温度範囲:	0~+50℃
保存温度範囲:	-20~+70℃
保存湿度範囲:	20~85%RH(但し結露のないこと)
標準 I/F:	High Speed CAN, Low Speed CAN, Single Wired CAN, CAN FD, KWP2000, ISO-9141, ISO-9141-2, SAE-J1708, J1850 (PWM/VPW), DDL, MMC, Generic (pull-up, UART x 2), ISO13400 (Do-IP)
PC用I/F:	USB Type-C 2.0 High Speed
プリンタ I/F:	Bluetooth [®] BR/EDR BLE 4.2
CPU:	ARM Cortex M7 480MHz
ROM (OS) :	2MB
ROM (AP) :	32GB (microSD)
RAM:	256MB + 8MB
バッテリー:	リチウム 3.0V(時計用)
LCD モニタ:	5.0 インチ (800 x 480 pixels) TFT カラー液晶
OS:	FreeRTOS
操作キー:	ENTER, EXIT, \uparrow , \downarrow , \leftarrow , \rightarrow , PAGE UP, PAGE DOWN, SAVE

※Bluetooth®は Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標です。

※製品仕様は予告なく変更する場合があります。

3. 初期設定と ID の確認

「設定」メニューから言語、コントラスト、キーパッドのバックライト、時計の設定が可能です。 また、「本体 ID」メニューからダウンロード期限、保証期間、シリアル番号の確認が行えます。

「「」	診断
1. TPM-6本体上部 DB15ポートに OBD I ケーブル のコネクタを差し込みます。 専用が イグニッション: OFF でたることを確認して	車両の故障診断などを行います。 「7. 診断」(<u>16 ヘ[°]−シ[°]</u>)を参照して ください
単向がイシニッション OFF このることを確認して S-DMT-MSを車両側 OBD II コネクタに接続してから	特殊機能
イグニッションを ON にします。	メンテナンスモード、エーミング、 DPF 再生、簡易バッテリーテスト を行います。 「8. 特殊機能」(26 ページ)を 参照してください。
///の/////////////////////////////////	履歴 保存したデータの再生・削除を行 います。 [0. 履歴」(28.0°->>>) を参照
起動してメインメニューが表示されます。 1351 05 V1.15 06 Batt 1332V	19. 履歴」(281-57)を参照 <u>履歴</u> してください。
Image: Provide with the second s	 設定 言語切替えなどの本体設定を変更 できます。 「3.初期設定と ID の確認」 (7 ヘ°-ジ)を参照してください。
ENTER:選択 EXIT:戻る	本体 ID
2 機能説明	本体 ID (シリアル番号)、アップ デートおよび保証期間を確認でき ます。
1. メニューを選択します。	「3. 初期設定と ID の確認」 (8 ヘ°-ジ)を参照してください。
各機能説明を参考にメニューを決定してください。 1351 03 v1.15 Bdtt 13.32 V	ソフトウェア更新
TPM-6 メニュー ジェ 静振 特殊機能 CED11	WiFi でのソフトウェアのアップ デートを行います。 更新
車 _{再登録} ENTER:選択 EXIT:戻る	





ソフトのインストールを行うためにユーザー登録を行います。手順にしたがってユーザー登録を行ってください。



<mark>- 注意 -</mark>

- ・入力欄は全て入力してください。未入力欄があると
 送信できません。
- ・ユーザー登録画面が表示されない場合は、「アップデート チェック」ボタンをクリックしてから、再度[登録内容変 更]ボタンをクリックしてください。

8.

送信完了後、ご登録メールアドレスをご確認ください。 「admin@scantool.co.jp」より「scantool.jp 登録受 付メール」が届きます。

メールを開いて本文にあるリンクをクリックします。

登録認証確認

下記リンクをクリックすると認証が完了します

http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=337

リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで「認証

完了」ページが表示されます。

- <u>注</u>意 -

- ・メールが届かない場合は「迷惑メール」に分類され ていないか確認してください。
- ・ダウンロード期間および本体保証期間は登録完了日 から1年間です。
- ・故障診断技術サポートはお申込みから1年間です。



5. アップデート



11

6. 車両登録

お客様の車両ナンバーを登録することができます。登録することにより、2回目以降の診断時にメーカー選択を省略することができます。





(次のページへ)





7. 診断



8.

車両に搭載されている各システムの故障コードの 読取が開始されます。



9.

点検結果が画面上部に表示されます。 異常がない場合は「異常なし」ある場合は 「○システム異常あり!」が表示されます。 どのシステムに異常があるかを確認する場合は 「診断結果」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



全自己診断結果画面から行えること

- ●印刷:詳しくは21ページへ
- ●データ保存:詳しくは 20 ページへ
- ●全自己診断の消去:詳しくは18ページへ

10.

診断結果の一覧が表示されます。 故障コードがメモリされていないシステムは「OK」 メモリされているシステムは「故障コードの数+DTC」 が表示されます。 故障コードを確認するには該当システムを選択して [ENTER]ボタンを押します。



11.

選択したシステムの診断メニューが表示されます。 「故障コードの読取」を選択して[ENTER]ボタンを 押します。



12.

故障番号と内容が表示されます。 [ENTER]ボタンを押すと詳細表示されます。



詳細表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。 詳しくは 28 ページをご覧ください。





2.

表示選択項目が表示されます。

全項目にチェックが入った状態で表示されます。 [開始]を選択して[ENTER]ボタンを押すとチェックが 入っているすべての項目が表示されます。

15:58	主二	Toyota v8.28 百日曜日 /171)	Batt: 13.34 V	
	表示. 走行距離	頃日送小 (1/1)	8	
	走行距離。			
	車速			
	エンジン回転数		選択:团	
	エンジン負荷値		解除:□	
	絶対負荷値			
		⊈除 │ すべて選択	■ すべて解除	
●[選択・f ●[すべてう ●[すべてf	解除] → 1 項 選択] → すべ 解除] → すべ	目ずつ変更て ての項目が ての項目が	できます。 選択されます 解除されます	0 0
1 項目ずつ にカーソル 項目に合れ ボタンを押	変更する場合 ~を合わせてか つせて[ENTER ¹ す度に選択⇔	は左右ボタン ら上下ボタ 」ボタンを押 解除が切替	ンで [選択・] ンで変更した します。 わります。	解除] い
3. 「表示選択」	項目」で選択で っつで選択で	された項目カ Toyota v8.28 データモニタ	が表示されます Batt: 13.34 V	す。
×=1				

走行距離	8
走行距離用単位	km
車速	0 km/h
エンジン回転数	0 rpm
エンジン負荷値	0.0 %
絶対負荷値	0.0 %

4. リスト表示の場合 Toyota v8.28 「ータモニタ Batt: 13 34 V 15:58 走行距離 走行距離用単位 km 車速 0 km/h エンジン回転数 0 rpm エンジン負荷値 0.0 % 絶対負荷値 0.0 % タ保存 印刷

[上下]ボタンで1項目ずつ表示がスクロールします。 また、画面下左右の[上下矢印ボタン]を選択して [ENTER]を押すとページ移動ができます。

リスト表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。 保存したデータは「履歴」から閲覧できます。 詳しくは「9.履歴」(28ページ)をご覧ください。

<mark>グラフ表示の場合</mark> ※グローバル OBD2 ソフトのみ

16:00	OBD[] v4.54	Batt: 13.32 V	
マニホールト・圧/エンジ・ン水温			
マニホールト・圧	255.0		
101.0 kPA			
Max: 110.0 kPA Min: 90.0 kPA	0.0	~~~~~	
エンジン水温	216		
80 C			
Max: 91 ° C Min: 40 ° C	0		
	EXIT:戻る		
「データモニタ」を選	択した際に「	リスト表示」	と
「グラフ表示」の選択	画面が表示され	れます。	
「グラフ表示」を選択	すると2項目語	までグラフ表	表示する

ことができます。 ※グラフ表示は最大2項目しか選択、表示できません。

5 データ保存	<mark>データモニタの保存</mark>
故障コードの保存 1. 「故障コードの読取」画面で[ENTER]ボタンを 押します。 ¹⁶⁰¹ Toyota v8.28 確定 (2) [仮 (2) 最新結果 (2)] P011015 吸気温センサ ハ'ンク1 +8シ3=ト, 断線(High) FF P010014 エ77ロJ-9 GND>3=ト, 断線(Low) FF	1. データモニタ表示画面から[データ保存]を選択して [ENTER]ボタンを押します。
ENTER:詳細 EXIT:戻る	2.
2. 詳細表示画面から[データ保存]を選択して[ENTER] ボタンを押します。 ¹⁶⁰¹ Toyota v0.28 確定(1/2) P011015 吸気温センサ n'ンク1 +Bショート, 断線(High) データ保存 印刷 フリ-x'フレーム DTCヘルプ	データの保存が開始されます。 [ENTER]または[EXIT]ボタンを押すまで保存し続けます。ボタンを押すと保存を終了します。 ¹⁵⁰⁵ ^{Toyota v8.28} <i>Fータを</i> 保存しています 00:02.06 ENTER/EXIT: 終了
3.	3. データが保存されます。
データが保存されます。 保存したデータは「履歴」から閲覧できます。 詳しくは「9.履歴」(28ページ)をご覧ください。 ¹⁶⁰¹ ^{Toyota V0.28} ^{Batt 13.32V} ^{ボータを保存しました} 2024-02-19_16.01.35.html 2024-02-19_16.01.35.xml 保存先: /Reports/UnregVehicle/Toyota/DTC	保存したデータは「履歴」から閲覧することができま す。詳しくは「9.履歴」(28ページ)をご覧ください。

TPM-6 はセイコーインスツル株式会社のモバイルプリンター(MP-B30)と Bluetooth® 接続して印刷すること



データ保存

フリース*フレーム DTCへル

7 DTC ヘルプ機能

1.

診断ソフトによっては DTC ヘルプ機能があります。 故障コードの詳細画面の表示で「DTC ヘルプ」を選択 して[ENTER]ボタン押します。



2.

DTC ヘルプ画面では故障コードの検出条件などの情報 が表示されます。



注意:カスタマイズ機能はメーカーにより異なります。 8 カスタマイズ 例:トヨタ車のシートベルトウォーニングブザー設定の場合 1. トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。 「カスタマイズ」を選択し[ENTER]ボタンを押します。 Batt: 13.30 V Toyota v8.28 トヨタ メインメ О. Ĭ ENTER:選択 EXIT:戻る 2. 注意事項が表示されます。 確認して[ENTER]ボタンを押します。 Toyota v8.1 重要!! Batt: 13.31 V 3.28 この機能は車両の状態によって設定変更出来ない場合や ECUにダメージを与える可能性があります。 同意した上、自己責任で行って下さい。 ENTER:同意する EXIT:同意しない 3. カテゴリー別に表示されます。 「ウォーニング」を選択し[ENTER]ボタンを押します。 16:39 Toyota v8.28 カスタマイズ Batt: 13.31 V エアコン ディスプレイ 単位変換 シート その他 ENTER:選択 EXIT:戻る 4. 「助手席シートベルトウォーニングブザー」を選択 して[ENTER]ボタンを押します。 Batt: 13.34 V 16:40 oyota v8. ウォ -ニン/ 運転席シートベルトウォーニングブザー いしんりょうこう テール消し忘れウォーニングブザー フラッシャ音量調整

ENTER:選択 EXIT:戻る

5.

現在の設定が反転して表示されます。 上下矢印ボタンで選択後[ENTER]ボタンを押して 決定します。



6.

設定が変更されました。

[ENTER]または[EXIT]ボタンを押して終了します。





注意:アクティブテストの手順はメーカー発行の 整備書を参照してください。	4. 機能説明と前提条件が表示されます。
10 アクティブテスト	確認して[ENTER]ボタンを押します。 ^{16:0} ^{16:0} ^{16:0} ^{16:0} ^{16:0} ^{16:0} ^{16:0}
例:トヨタ車のエンジンパワーバランスの場合 1. トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。 「アクティブテスト」を選択し[ENTER]ボタンを 押します。	このアウティブテストは、 選択した気筒の燃料カットおよび点火の停止を行います。 このアウティブテストを行うと、エンジンストールや、 ラフアイドル状態となります。
1947 トヨタ メインメニュー 診断 アクティブテスト ENTER: 選択 EXIT: 戻る	ENTER:次へ EXIT:中止 16:50 Toyota v8,28 Batt:13:34 V 実施条件 下記車両状態で実施して下さい。 - IG ON - Engine ON - シフト位置がP(AT)又はN(MT)
2. システム選択画面から「エンジン」を選択し[ENTER]	ENTER:次へ EXIT:中止
ボタンを押します。	5. 左右ボタンで気筒を選択して[ENTER]ボタンを押して 実行します。 ^{16.51} ^{Toyota v8.23} ^{Diff} ^{17.7} ^{17.7} ¹
3. 機能一覧画面から「パワーバランス」を選択して [ENTER]ボタンを押します。	#1► 1651 Toyota v8.28 車速 0 km/h エンジン回転数 0 rpm エンジン負荷値 0.0% 絶対負荷値 0.0% 吸入空気量 0.21 g/s

8. 特殊機能

「特殊機能」は作業サポート機能をまとめて、選択の手間を省略化した機能です。 メンテナンスモード、DPF 再生機能、簡易バッテリーテスト、エーミングモード、J2534 モードが実行できます。

1 特殊機能	能の各アイコン	2.
*) *)7†)/2t-1-1	メンテナンスモード: ブレーキのエア抜きや整備モードなど 常よく行う作業サポート項目を まとめてあります。	単向の状態を確認する画面か表示されます。 確認して[ENTER]ボタンを押します。 1612 05 vl.48 Balt 1238 V 商易バッテリーテスト 商易バッテリーテスト
	DPF: DPF 再生に関連する機能をまとめて あります。	注意! HV車は測定できません! [GNキーON、エンジン停止。
(()(())) エーミング	エーミング: エーミングに関連する機能をまとめて あります。	ENTER: 次へ EXIT: 中止 3. 始動前のバッテリー雷圧が表示されます。
主 受力 簡易バッテリーテスト	簡易バッテリーテスト: 車両側 OBD2 コネクタのバッテリー 端子の電圧からバッテリーの簡易点検 を行います。	エンジンを始動させてください。 16:12 03 v1.48 Bat: 12:39V 筒易バッテリーテスト
J2534 J2534 モード	J2534 モード: 「10. J2534 モード」(<u>30 ページ</u>)を ご覧ください。	パッテリー電圧 : 12.38 V エンジンを始動させてください
2 簡易バ	ッテリーテスト	EXIT:中止
1. この機能は12V 行えます。(HV 国	バッテリーと充電系統の簡易点検が ▣、24V 車は対象外)	4. 始動時のバッテリー電圧と充電電圧の計測が開始されます。
尚、端子電圧のみで判定を行う為、最終的な良否判断 はCCA値などの測定が可能なバッテリーチェッカーに よる点検や整備書に基づいた点検を行い判定してくだ さい。		筒易パッテリーテスト 始動電圧を測定中・・・
- 車両側の IG キ - 「簡易バッテリ- を押してくださ	ーをオンにします。 ーテスト」を選択して[ENTER]ボタン รい。	34% EXIT:中止
16.56 08 v1.15 Batt: 13.34 V 特殊機能		16:14 05 ∨1.48 Batt: 11.31V 11 15 17 (シテリーテスト
\$\\F\$\\XE-(・ DPF エーミング	充電電圧を測定中・・・
前 易\\'.yテリー		

(次のページへ)



保存した故障コードやデータモニタの表示(再生)や削除が行えます。





「J2534 モード」は、下図の様に検査用スキャンツールの VCI(特定 DTC 照会アプリがインストールされたパソコンと車両をつな ぐ機器)として TPM-6 を起動させるモードです。

TPM-6 本体とパソコンとの接続は Bluetooth $^{\circ}$ または付属の USB ケーブルによる接続が可能です。

【TPM-6 による検査用スキャンツールの構成イメージ】



⁽次のページへ)



(次のページへ)



⁽次のページへ)



11. Wi-Fi によるアップデート

Wi-Fi を利用して TPM-6 のソフトをアップデートすることができます。





12. 保存データをパソコンで確認する

保存したデータは本体をパソコンと接続して確認することができます。



(Windows11の場合)

13. トラブルシューティング

アップデートが正常にできない場合は、セキュリティソフトやパソコンの設定で外部メモリへの書き込みが禁止 されている場合があります。事前に設定などを確認した上で以下の手順を行ってください。

Q.1 書込みができない

[アップデートチェック]ボタンを押しても「書込み出来 ません」「再試行してください」とメッセージが表示さ れてアップデートが行えない。













14. 保証について

- ・TPM-6はお客様がインターネットを使用して ユーザー登録した日を開始日として1年間保証され ます。但し、保証期間はインターネットを使用して 正しくユーザー登録されている場合のみ有効です。
- ・保証対象は本体のみです。ケーブルなどの付属品は 保証対象外となります。
- ・保証期間内に正常な使用方法にて故障した場合は 無償修理いたします。
- ・火災、天災による故障の場合は保証適応外となり ます。
- ・乱用、改造、分解あるいは意図された用途以外の 目的に使用された場合は保証適応外となります。
- ・原則的に本製品は現品修理となります。
- ・お買い上げになりました TPM-6 本体、ケーブル やアダプタなどを修理のために送付しなければなら ない場合の往復運賃はお客様のご負担となります。

保証期間:ユーザー登録から1年間

- ・期間終了後1ヶ月以内にアップデート延長申込をさ れた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。
- ※アップデートおよび保証期間はメインメニューの 「本体 ID」からご確認いただけます。

お問合せ先について

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断不可 車両がございましたら自動車検査証など車両情報が分 かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連 絡ください。

なお、故障コードに対する修理方法等は返答致しかね ますので、車の修理書等をご覧頂く様予めご了承願い ます。

製造元:株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2 TEL:058-246-1733 FAX:058-246-1736